

まちづくり協働座談会～望ましい生涯学習施設の整備について～ 会議録要約

- 開催日時：令和7年5月27日（火）午後3時00分～午後4時30分
- 開催場所：中央公民館 2階 西集会室（和室）
- 参加者：8名（胎内市生涯学習施設整備検討委員会委員（令和元年当時。以下、検討委員会又は検討委員と記載）、子育て世代を含む施設利用者）
- 市出席者：市長、総合政策課長、生涯学習課長ほか事務担当者
- 座談会開催趣旨：胎内市生涯学習施設整備基本構想（以下、構想と記載）を策定する段階で検討いただいた検討委員、及びこの施設のコンセプトの柱の一つとして子育て世代の方々にも積極的に利用いただけるような施設を構想していることから、子育て世代の方々にもご参加いただいて、市長とともに、望ましい生涯学習施設の整備について意見交換をするもの。

1 市長あいさつ

市 長	○これまでの検討委員会やワークショップを通じて、市民代表の方々からの意見を踏まえ、新たな生涯学習施設は、図書館や公民館機能に加え、多世代、子育て世代が交流できる複合的な施設にしたいと考えています。そのための整備候補地については、駅周辺や旧中条体育館跡地などさまざまな候補地が挙がっていましたが、さまざまな条件を踏まえて、関沢地内を有力な候補地として挙げているものです。 ○せっかく整備する施設である以上、市民の皆さんに喜んでいただけるものにしたいと考えています。これから生まれ育つ子どもたちも含め、すべての市民のための施設として、多くのご意見を伺いながら、皆さんに理解していただける形で整備を進めていきたいと思います。
-----	---

2 望ましい生涯学習施設の整備について

参加者	○子育てをしていると、胎内市では車移動が中心になるため、広い駐車場があるのは良いと感じました。候補地案を見たときに、嘉平山であれば広い駐車場を確保して整備できるのではないかと思います。
参加者	○嘉平山に向かうには国道7号を横断する必要がある、非常に行きにくく感じます。利用する子どもたちの安全を考えると、駅周辺の方が望ましいのではないかと思います。
参加者	○未就学児と小学生と一緒に楽しめる場所が限られており、困っている家庭も多いと思います。たとえば、小学生は「きらら」を利用できないといった制約もあるため、そうした点に配慮した施設があると良いと思います。
市 長	○これまでに、子育て世代の方々からは屋内外でゆっくり遊べるスペースが

	ほしいという声があり、年配の方からも自然の中で散策できる場所があったら良いというご要望が寄せられていました。子どもたちの情操を育みながら、自然に触れ、自然から学び、地域の方々と交流できるような場を考えたとき、このような広さや立地が望ましいのではないかと考えています。
参加者	○図書館、公民館に代わる新しい施設になると思いますが、今ある公民館と図書館は、もう使わないのですか。
市 長	○この点については、非常に慎重な判断が求められる難しい課題であると受け止めています。地区の公民館機能については、黒川や築地、乙など、地域ごとに交流スペースや公民館的な機能を今後に残していくべきと考えています。現在の中央公民館は旧中条町内にあり、多くの方に利用されています。そうした中で、老朽化が進んでいる現状を踏まえ、町内にもミニ公民館のような形での対応を考える必要があるのではないかと実は思っています。 そのうえで、胎内市全体として多くの市民が利用しやすく、使いたいと思える施設を目指していることをご理解いただきたいと思います。
参加者	○私自身も、図書館と公民館の機能を併せ持つ施設を整備するものと考えておりました。そうした観点からも、広さよりも、学生たちが安全に利用しやすい場所であることが大切だと感じます。たとえば、通学路の途中にある、あるいは駅での待ち時間に立ち寄れるといった利便性が重視されると思います。また、公園を整備するのか、なぜ嘉平山のような広さが必要なのでしょう。
市 長	○学生だけでなく、年配の方や子ども連れの保護者など、さまざまな人が各地から利用に訪れることを考えると、ある程度の広さのある駐車場や、憩いと交流ができるスペースもあったほうが良いと思っています。そうした諸々の機能を合わせ持つ複合的な施設が望ましいのではないかという考えで進めてきました。アクセスの良さや安全性についても、当然しっかりと考えていく必要があります。
参加者	○図書館での読み聞かせ活動は、そんなに広いスペースがなくても子どもたちは十分楽しめています。そのため、広い駐車場が本当に必要なのか、少し疑問に感じています。
市 長	○図書館は、子どもたちや学生だけでなく、シニア層の方々も本を楽しめる場として考えられているため、利用者の母数は多くなると考えられます。そのことからゆとりのある広い場所が必要なのではないかと考えています。
参加者	○我が家にも子どもがいますが、雨や雪の日には市内で遊べる場所ないのが現状です。外で少し遊べる場所があり、さらに室内でも子どもが思いっきり動けるスペースがあれば、本当に良いと思います。
参加者	○子どもがいずれ小学生になることを考えると、交通手段が重要だと感じます。施設を巡回するバスなどがあると便利だと思います。

参加者	○さまざまな活動が生まれる要素を組み合わせ、新しい活動を創出していく可能性に対応できる施設が望ましいと感じていました。将来的な可能性を広げるためには、物理的なスペースの確保が必要だと思います。
参加者	○図書館の利用者は60代の方が多く、嘉平山にできたらとても行けないとおっしゃっていました。一方で、子育て世代やこれから生まれてくる子どもたち、特に市民にとって一番利用しやすい場所であることが大切だと思います。市の人口も減少していることから、規模に見合った施設をしっかりと考えていくことが重要だと思います。 ○できれば、やはりもう少し市街地に近い場所、せめて国道のこちら側（街なか）にあるとありがたいと思います。
市 長	○地区公民館や図書館の機能は、まさにコンパクトで歩いて行ける場所にあることが非常に有益であり、必要性も高いと考えています。これらは生涯学習施設とは別枠で捉える視点が必要なのではないかと思っています。また、生涯学習施設までの交通手段としては、「のれんす号」や定期的なバスの運行など、さまざまな方法を考えていく必要があると思います。 ○これから何十年先も胎内市が持続可能であり、税収が安定し、産業や雇用、そして子どもたちの誇りのためにも、洋上風力発電が重要だと考えています。現在の見通しでは、長期間にわたり安定した固定資産税収が期待できる状況です。コストの低減と税収をセットで検討しながら進めてまいります。 ○皆さんからいただいたご意見を大切にお聞きしながら、さらにさまざまな方々のご意見も伺い、専門家の知見を集めていければと思います。 ○駅周辺については、広い土地があれば良いのですが、残念ながら線路の近くには細長い土地しかありません。中央公民館周辺に関しては、中学校の再編に伴い、統合中学校の場所をどこにするかということも非常に重要な課題であり、一般的に考えれば、この中条中学校の場所に集約するのが自然だと考えられます。
参加者	○公民館と図書館が新たな生涯学習施設として一体化するイメージを持っていましたが、地区の公民館が別枠で維持されると聞いて、とても安心しています。
参加者	○（5月21日付）の新聞記事が出たことで、多くの方がまるで決まったことのように受け止め、とてもショックを受けられました。あくまでも候補地の一つであるという点が、もっとしっかり伝わると良いと感じています。
市 長	○（記事では）「予定地」とは記載せず、「候補地」としているのですが、このような伝え方は決めつけと受け取られるおそれがあると感じました。一番大切なのは、もっと丁寧に意見をお聞きし、熟議を経て決定していくことです。記事が出た直後に、フェイスブックでコメントを発信しましたが、市報などでも

	改めて丁寧に説明していきたいと思います。
参加者	○コンセプトの『『つなぎ・育む』情報・文化・交流の拠点』という点は、ぜひ大切にしていきたいと思います。この土地ならではの個性的な文化や歴史を紹介し、関心を持ってもらうために、この施設は非常に有効だと考えています。建設場所に関しては、どこに建てても近くなる方と遠くなる方が必ず出るため、施設をつくる際には胎内市ならではのゆかりのあるものを大切にすることが重要だと思います。
市 長	○そうしなければならないと思います。
参加者	○胎内市はとても良い場所だと思っています。板額太鼓があったり、多くの作家の方々がいらっしゃることを知りました。そのような方々が美術館で行っているワークショップを、この施設で子どもたちに気軽に教えたり、一緒に体験したりできる場があれば、それも交流の一つになるのではないかと思います。文化を受け継いでいくことは、やはり大切なことだと感じています。
参加者	○市内には屋内の遊び場がないため、子どもたちが伸び伸び遊べる室内スペースはぜひ欲しいと思います。しかし、あまりにも多機能すぎると、どの機能も中途半端になってしまうのではないかと危惧しています。
参加者	○すごく同感です。公民館や図書館が非常に老朽化しているため、新しい施設をつくろうという話があり、公民館機能と図書館機能を重視して考えてきました。しかし、交流施設の機能を重視しているからこそ、嘉平山が候補地になったのではないかと感じています。
市 長	○さまざまな機能を複合的に持つことで、実はコストの低減も図ることができます。交流ができ、誰もがさまざまな活動や創作を行える場所を目指していきたいと思っています。 ○学びも交流もできるというコンセプトは、やはり非常に大切にすべきだと思います。また、アイデアが生まれたり広がったりする余地や可能性がどこかに宿るような施設になれば、さらに素晴らしいと考えています。
参加者	○子どもの数が減っている中で、多世代が利用できる施設はとても良いと思います。子育ての時期が終わっても、その後も何かしら利用できる場であれば、施設が有効に活用されると思います。 ○年を重ねても利用できる施設となり、文化に触れることができる場であれば、とても良いと思います。 ○嘉平山の場所についてですが、クマの出没が心配されます。大丈夫でしょうか。
市 長	○どこにいるかわからないクマを搜索するのは大変ですが、限られたエリアでクマが近づかないよう対策を講じることは可能だと考えています。
参加者	○現時点で重要なのは、公民館と図書館をできれば同じ場所に整備してほしい

	という意見がある一方で、こちらには別の施設をというような方向性が、これまで定まっていなかったという点です。 ○図書館、交流拠点、公民館の3つの機能を一か所で完璧に叶える施設を造るのは、難しいのではないかと感じています。
市 長	○市内全域の皆さまが利用できる施設を造っていこうということで、構想段階から多くの方にご意見をいただいています。 ○地区ごとの施設は大切にしつつ、中央公民館は老朽化しており、皆さんのご要望を踏まえ、コンパクトにすべきものはできるだけコンパクトにしていく、そのような考えになると思います。
参加者	○地区の公民館が（別の形であっても）残るとお聞きできたことは、とても良かったと思います。
参加者	○5月21日付の新聞記事を受けて、市長随想で「（関沢地内は）あくまでも候補地であり、決して確定しているものではない」と翌日フェイスブックで発信したものを、回覧文書にできないものでしょうか。
市 長	○そもそも市長随想をそのまま市報に掲載するのは通常行っていないですが、囲み記事として示せば、多くの方に納得いただけるのではないかと思います。今後も様々な場面で丁寧に説明していきたいと思います。